編集後記

今回の特集号では、Helicobacter pyloriの除菌に伴う問題点を題して、主として除菌の非奏効例を奏効例と比較しながら浮き彫りにすることを目的とした。

胃十二指腸潰瘍は、除菌に奏効する Hp起因性潰瘍があり、一方非奏効例では、NSAIDs起因性潰瘍が大半であるが、原因不明の難治性潰瘍がわずかながらあることが示された（関根、加藤論文）。MALTリンパ腫症例の除菌については、多くの症例は奏効するが、非奏効例は起因性の病変が多く、組織学的特徴も遺伝子の面でも奏効例とは異なる症例が多いことが示された（小野、橋井、土井論文）。その他、確定診断を有する胃腺腫が除菌によって縮小・消失する例もみられる（熊倉、後藤論文）。また、除菌後に、萎縮性胃炎が改善し、胃十二指腸びらんがみられ、逆流性食道炎が増加することも示された（柳田、連水論文）。

これからの報告を通覧すると、Hpの胃病変に関与する役割がいかに大きいものであることがわかり、Hpの胃病変の関与が報告されて以来推測されていた、あるいは思いもかかない結果が実際のデータとなって実証され、除菌に関しては、既に非奏効例を問題にする時代に入っていることが感じられた。

現在では、Hp起因と思われる胃疾患に対し、まず除菌をして、奏効しない症例について他の方向を考えざるを得ないが、今回の報告にもある合併症の問題を考えると、分子病理学的な手法も含めて、除菌前に奏効例、非奏効例を区別できる時代の到来が近いと予想される。

ただ、現在の胃病変の主役は Hpであるが、 Hp感染だけでは解決されない多くの問題があり、次への知の主役がある可能性は大きいのだろうか。

4月号（第37巻・第5号）予 定 価（本体2,300円+税）

主題/ cap polyposis と粘膜脱症候群

序説 直腸粘膜脱症候群（MPS）と cap polyposis……………旭川医科大学・第3内科 齊藤 裕 輔

症候群の比較……………………九州大学大学院医学部・形態機能病理学系 八尾 俊史・他

臨床からみた cap polyposis—報告例 20例と自験例5例の検討—……………信州大学附属病院・光医療研究部 赤松 泰次・他

ca cap polyposisと粘膜脱症候群どう違うのか—病理の立場から—…………福岡大学病理部・病理学部 松下 明徳・他

ca polyposisと隆起型 MPSとの病理組織学的差異……………新潟大学医学部・病理学第一講座 窪木 英樹・他

X線内視鏡所見からみた cap polyposisと粘膜脱症候群の異同—九州大学医学系院病理学系内科 江崎 豊・他

直腸粘膜脱症候群と cap polyposisの内視鏡所見の異同に関する検討—……北里大学東病院・消化器内科五十嵐正広・他

ca polyposis—臨床像と治療経過……………仙台赤十字病院・大腸病センター 稲浦 信夫・他

ca polyposisと粘膜脱症候群どう違うのか—臨床所見、治療経過を中心に——東京医科大学病院・消化器内科 北野 厚生・他

ca polyposisの組織診断—内視鏡比較—……………新潟大学医学部・第1病理 道辺 良美・他

症状性病変を伴う深部大腸病変が認められた……福岡大学医学部・消化器内科 藤岡 諭・他

ステロイド内服とエカベトナトリウム注射で奏効した……富山県立中央病院・内科 萩野 英朗・他

10年以上の経過で粘膜脱症候群から cap polyposisへの移行を観察できた1症例…………藤田保健衛生大学・消化器内科 中野 浩・他

胃と腸（第37巻 第4号）

編集 早期胃癌研究会
発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 信

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-2-43
本誌編集局通03(3815-5714)
FAX (03)3815-7982
E-mail: itoch@igaku-shoin.co.jp

2002年3月25日発行（毎月25日発行）
1部定価（本体2,300円+税）（配送料116円）
2002年締め予約購読料33,810円
（増訂号5,500円を含む13冊）（送料手数料）
販売部通03(3815-5659)
振替口座0170-9-9669
印刷所永和印刷（株）03(3813-5001)
広告取扱文栄社03(3814-8541)

Published by IGAKU-SHOSHIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan.
本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能性権を含む）は医学書院が保有します。

両日本著作出版権管理システム委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合には、その都度事前に両日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670）の許諾を得てください。

医学書院ホームページ（インターネット）http://www.igaku-shoin.co.jp

（担当）阿野・渡辺・永安・小松原

2019/06/21 15:16:38